



こうのとり通信

No. 114

発行日：2023年4月10日

編集：広報委員会

<http://www.hacsw.or.jp/>

お知らせ

事務局移転のお知らせ

2023年4月1日より、業務の拡大に伴い、事務局を兵庫県福祉センターの**3階**に移転いたしましたのでお知らせいたします。

なお、入居する建物、電話番号は変更ありません。

- 移転先所在地：神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター3階
- 事務局電話番号：078-265-1330 Fax：078-265-1340
- 新事務局での業務開始日：2023年4月3日(月)より

研修管理システム「manaable (マナブル)」を導入いたします。

こうのとり通信夏号掲載分の本会開催研修より、研修管理システム「manaable (マナブル)」を導入いたします。

上記システムに会員の皆様に登録していただき、申込・参加費支払いをWeb上で行っていただくことになります。

また、参加費支払い方法は、従来の銀行振込に加え、クレジットカード支払、コンビニでの支払が可能となります。

登録・申し込み・参加費支払い方法などについては「こうのとり通信夏号」でお知らせをいたします。

目次

- 事務局移転のお知らせ..... 1
- 研修管理システム「manaable（マナブル）」を導入いたします。..... 1

【報告】

- 2022年度 西はりまブロック交流会（集い場）プレミアムフライデー 3
- 令和4年度医療的ケア児等コーディネーター・フォローアップ研修..... 3
- フォレンジック・ソーシャルワーク研修（刑事司法ソーシャルワーク実践研修） 4
- 基礎から学ぶ社会保険～障害年金と傷病手当にポイントをあてて～ 4
- 第24回兵庫県総合リハビリテーション・ケア研究大会
医療・保健・福祉領域でのICT活用の可能性～専門職の新しい働き方を考える～..... 5
- 集い場オンライン 第5回「成年後見の実は」 6

【ブロックインフォメーション】

- 神戸ブロック..... 7
- 阪神ブロック..... 7
- 東播ブロック..... 9
- 西はりまブロック..... 9
- 丹波ブロック..... 9
- 但馬ブロック..... 10
- 淡路ブロック..... 10

【委員会だより】

- ◆ 研修委員会..... 11
- ◆ 調査研究委員会..... 11
- ◆ 国家試験対策委員会..... 12
- ◆ 広報委員会..... 12
- ◆ 相談委員会..... 13
- ◆ ソーシャルワーク研究委員会..... 13
- ◆ 高齢者・障害者虐待対応委員会..... 14
- ◆ ばあとなあ兵庫..... 14
- ◆ 地域包括支援センター支援委員会..... 15
- ◆ こども家庭支援委員会..... 15
- ◆ 実習教育支援委員会..... 16
- ◆ 独立型社会福祉士支援委員会..... 16
- ◆ 障がい福祉委員会..... 17
- ◆ 更生支援委員会..... 17
- ◆ 地域移行支援委員会..... 17
- ◆ 生活困窮者支援委員会..... 18
- ◆ 災害支援委員会..... 19

【お知らせ】

- 委員会責任者名..... 19
- メーリングリストのお知らせ..... 20
- Team-G 59号 23
- オンライン研修受講時の注意事項..... 25

【研修案内等】

- ◆ 【オンデマンド】令和5年度 医療的ケア児等支援者養成研修 29
- ◆ 【Zoom】基礎研修Ⅰ 30
- ◆ 【Zoom】基礎研修Ⅱ 32
- ◆ 【Zoom】基礎研修Ⅲ 34
- ◆ 【Zoom・会場】成年後見人材育成研修 36
- ◆ 2023.6.9～ 【Zoom】このとりゼミ（前期） 38
- ◆ 2023.7.8～ 【Zoom】相談委員会 なんでも話そう座談会 39
- ◆ 2023.11.5 【会場】実践研究発表会 実践報告会 40
- ◆ 新メンバー求む！ 41
- ◆ 委員会見学申込書 42
- ◆ 会員情報変更届 43
- ◆ 事務局情報 44

※ 各研修につきましては、申込人数が少ない場合、中止することがありますので、予めご了承くださいませようお願い致します。

■ 自然災害による中止及びその告知について

研修開始の2時間前に研修開催場所に特別警報が発令された場合は、研修会を中止いたします。また、特別警報の発令に関わらず、台風接近や自然災害の状況を見て、研修会をやむを得ず中止する場合がありますのでご了承ください。

基準等は、本会ホームページをご参照ください。 <http://www.hacsw.or.jp/>

研修開催の中止が決定した場合は、研修開始2時間前に本会ホームページ、または本会ホームページ下部にあるFacebookに掲載します。掲載がなければ開催するものをご理解ください。

個別連絡は致しませんので、予めご了承くださいませようお願いいたします。

報告

2022年度 西はりまブロック交流会（集い場） プレミアムフライデー

報告者：西はりまブロック 岸 剛健

実施日 2022年4月22日～2023年1月27日の毎月最終金曜日
開催方法 オンライン 参加人数 のべ174名

【実施内容】

児童、高齢、施策、地域等の講師をお招きし幅広く学び、交流を深めることができました。

報告

令和4年度医療的ケア児等 コーディネーター・フォローアップ研修

報告者：兵庫県社会福祉士会事務局

開催日 2022年12月15日 開催方法 オンライン 受講者数 93名
講師 常石 秀市氏
(医療福祉センターきずな院長・兵庫県医療的ケア児支援センター長)

【研修概要】

医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者を対象に、社会資源の理解とネットワークの構築を進め、担当地域での実践力を身に着けることを目的に開催しています。

昨年度は2022年6月に開設された兵庫県医療的ケア児支援センターの取り組み、役割や機能についての講義とグループに分かれて医療的ケア児等コーディネーターとしての取り組み事例や課題についての意見交換会を行いました。

【所感等】

一昨年度の参加者を大きく上回る申し込み・参加があり、関心の高さがうかがえました。講義1時間、意見交換会1時間の研修時間でしたが、アンケートには時間が短かった、もっと長くても良かったという声が多数寄せられ、それだけ充実した中身であったのだろうと推察されます。

申込者数だけで言えば110名ほどであり、当日受講できなかった人たちに向けて、講義部分のみをオンデマンド配信（2023年1月16日～1月31日）も行いました。オンデマンド配信も申し込み制とし、研修当日受講できなかった人はもちろん、受講した人も復習もかねて再度お申し込み・受講されていました。「研修当日はメモを取るのに必死だったが、オンデマンド配信で聞くことに集中して復習することが出来、改めて学びが深まりよかったです」という声や「意見交換や情報共有ができないのは残念ですが、オンデマンドで配信していただけると、参加しやすく学ぶ機会が得られるので大変助かります」など好意的な声が多数寄せられました。

令和5年度のフォローアップ研修は、今回のアンケートに多数要望のあった「保育園・学校現場での取り組み事例や課題」についてをテーマとする予定です。

報告

フォレンジック・ソーシャルワーク研修 (刑事司法ソーシャルワーク実践研修)

報告者：更生支援委員会 委員長 佐藤 寛士

開催日 2023年1月8日
参加人数 40名
講師 同志社大学心理学部心理学科 准教授 毛利 真弓氏
シンポジウム 毛利真弓氏、
岡村恵子（当委員会副委員長）、マドフォ恵（副委員長）、佐藤寛士（委員長）

【研修概要・所感等】

フォレンジックソーシャルワーク研修は「刑務所内での指導」に関して、心理的なアプローチ方法などを中心として、先駆的に取り組みが行われる島根あさひ社会復帰促進センターの活動を学習しました。自分自身と向き合い、集団の中で役割を得て、語りを中心とした回復への道筋は、紆余曲折だと感じました。対象者自身、刑務所内での指導をすぐに実践することができず、施設から地域に出た時のギャップに耐えられない状況が生じることも理解ができました。支援者側に求められる対象者像の理解が少し進んだような気がします。



報告

基礎から学ぶ社会保険 ～障害年金と傷病手当にポイントをあてて～

報告者：丹波ブロック 理事 槌谷 顕祐

実施日 2023年1月21日
開催方法 オンライン
参加人数 18名

【実施内容】

丹波圏域で活躍されている様々な職種の方と交流を深めることも兼ねて、丹波市で社会保険労務士・行政書士として活躍されているアイ労務行政相談所の梅垣喜美代氏に講演をお願いし、架空の家族をモデルに障害年金や傷病手当金の受給の可否、受給に至るまでの支援のポイント等を学びました。今回は障害者支援に携わる社会福祉士も多く参加されており、相談援助の幅が広がった、今まで関わる事がなかった職種の方と繋がることができて、とても有意義だったとの意見をいただきました。講演後の交流会では、会員同士の近況を報告したり、今年目標を発表し合ったりして、新たな年度に向けての意気込みを聞いて、それぞれ刺激を受けていました。



第24回兵庫県総合リハビリテーション・ケア研究大会 医療・保健・福祉領域でのICT活用の可能性 ～専門職の新しい働き方を考える～

報告者：兵庫県社会福祉士会事務局

開催日 2023年2月4日 参加人数 約50名
開催方法 オンライン及び会場（兵庫県民会館 けんみんホール）

【研修概要】

セッションⅠ「研修管理」

- ・企業講演：笠貫 華子氏（ITRA株式会社 ビジネスディベロップメント局）
- ・指定演題：北野 貞氏（兵庫県看護協会 常務理事）
座長：中山 貴之氏（兵庫県社会福祉士会 事務局次長）

セッションⅡ「VR（仮想空間）」

- ・企業講演：原 正彦氏（株式会社mediVR 代表取締役）
- ・指定演題：梅地 篤史氏（兵庫医科大学病院リハビリテーションセンター）
座長：内山 侑紀氏（兵庫医科大学病院 リハビリテーション科 准教授）

セッションⅢ「業務改善・情報共有」

- ・企業講演：瀧村 孝一氏（kinbozu株式会社 代表取締役）
- ・指定演題：胡中 智礼氏（兵庫県社会福祉士会）
座長：大串 幹氏（兵庫県リハビリテーション協議会 会長）

ディスカッション～これからのICTの活用と新しい働き方について～

登壇者：各セッションの指定演題発表者・座長
コーディネーター：西野 佳名子氏（兵庫県社会福祉士会 事務局長）

【所感等】

コロナ禍の影響により会場での研修が難しくなり、オンライン研修開催に伴い、複雑になった事務を研修ソフトの活用で一本化した管理ができるようになった具体例やVRを活用することで治療困難であったケースに改善が見られたという報告、莫大な時間を費やしていた事務作業を様々なアプリケーションを活用することで業務改善をはかれた事例の報告がありました。ICTという言葉から難しそう、よくわからない…と、苦手意識を持つ人も少なくないかもしれませんが、新しいことに慣れ、身に着けるまでは時間がかかり、その間は人によっては辛いかもしれませんが、実際に活用できるようになると、これまで当たり前になっていた不便さから解放され、他の時間に充てることができるなどの改善が見られます。

既にオンライン研修を経験し、会場までの往復時間や交通費などを節約することができ助かっているという経験をされた方もいると思いますが、DX（デジタルトランスフォーメーション）とはまさにそういうことです。

実施日 2023年2月16日 開催方法 オンライン
参加人数 17人

【実施内容】

「成年後見の実は」と題して、行政の窓口業務（後見支援センターや地域包括支援センター）の対応をしている会員や成年後見業務を受任している会員が最近感じていること等をそれぞれの立場からリアルに語ってもらいました。

感想や学んだこと：【参加者の感想】

- Aさん：実際に受任されている方から受任することのメリット、デメリット、留意点などを聞いたので勉強になった。これから独居高齢者や身寄りの無い方が増えていくことが予想される中、成年後見制度についての広報・啓発がより一層求められると感じた。
- Tさん：成年後見制度の概要だけでなく、当事者の“生の声”を聞いて勉強になった。
- Oさん：支援の初期から受任後までの話を聞くことができ、大変勉強になった。後見制度を間違っ
て理解して相談に来られる人も多いという成年後見センター職員の話が印象に残った。
通常業務に直接関わりのない私も正しく理解、伝達していく重要性を改めて感じた。



神戸ブロック（ブロック理事 中尾 美隆）

桜の花も盛りを過ぎ、吹く風も暖かく感じられる季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今年度は会員相互のネットワークの構築を促進するためにも、感染症拡大防止に留意しながら積極的にブロック活動を進めてまいりたいと思いますので、各活動にぜひご参加ください。皆さまのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

神戸ブロックの活動と今後の予定などをお知らせいたします。

【活動報告】

2023年3月5日 10:00～11:30 ミニ勉強会&交流会（オンライン）

テーマ：備える～防災リテラシーと個別避難計画～

講師：神戸ブロック役員・兵庫県社会福祉士会防災と福祉の連携支援員 加戸陽子氏

2023年4月2日 11:30～14:30 つどい場Le Lien（ル・リアン）お花見ピクニック

場所：神戸布引ハーブ園

【活動予定】

2023年6月11日（日） 10:00～11:45 神戸ブロック総会および記念講演会（オンライン）

【お知らせ】

- Facebook（フェイスブック）しています。検索：兵庫県社会福祉士会神戸ブロック
- 神戸ブロックのメーリングリストへのメールアドレスは下記の通りです。
kobe.block.fukushishikai@gmail.com

阪神ブロック（ブロック長 中原 克子）

当ブロックでは2か月に1回の役員会とともに、学習会や自主ゼミ、ナイトカフェなどを開催しています。

また、新たな活動として、ヤングケアラーを支援するため、小中学生のヤングケアラーやそのきょうだいを対象とした「ヤングケアラーの居場所」を開催しています。

今後も新型コロナによる感染影響をみながら、オンラインを積極的に活用し、会員交流や地域部会の活動など、ブロック活動を継続していきます。

【活動報告】

○ヤングケアラーの居場所づくり

2022年度12月よりヤングケアラーの居場所づくりを始めました。

阪神ブロック会員だけでなくSSWや行政などの協力を得て尼崎市にて月1回開催しています。参加者は10名前後で子供たちが楽しんでたこ焼きやもちピザづくりなどにチャレンジしていました。食べるだけでなく、パスタでリースをつくったり、坊主めくり大会をしたりと季節感のあるイベントを取り入れています。2023年度も引き続き継続していきます。



○夜の集い場「ナイトカフェ」

原則、第2土曜日の夜に毎回、様々なテーマを話題提供いただき、ソーシャルワーカーの視点から意見・情報交換を行っています。

2023年2月11日 19:00~21:00 「認知症ケアのためのマフ活用講座」

参加者33名 北海道からも参加があり、盛況に終わりました。

2023年3月4日 19:00~21:00

「イギリスの認知症地域ケアから日本のケアを振り返る」

中西 誠司氏 (グループホームひだまりの家施設長・作業療法士)

2023年4月8日 19:00~21:00

「薬剤師さんにあれこれ聞いてみよう」

金光 伴訓氏 (白澤薬局 代表取締役・薬剤師)

○第2、第4金曜日に国家試験対策委員会、神戸・西はりま・淡路の各ブロックとの共同により開催している自主ゼミが全日程終了しました。今年度も開催いたします。

【今後の予定】

○兵庫社会福祉セミナー in 阪神

2023年5月28日(土) 「地域社会におけるソーシャルワーカーの役割と期待」

申し込み等はホームページ、チラシをご覧ください

【阪神ブロックのメーリングリスト登録のお願い】

阪神ブロックの方で、当ブロックのメーリングリスト登録を希望される方は、下記担当者宛へのメール送信をお願いいたします。

阪神ブロック問い合わせ・メーリングリスト申し込み先

kazuhisa_okamoto@office.city.kobe.lg.jp



ブロックインフォメーション ③

東播ブロック（ブロック理事 岩西 太一）

【活動報告】

【会議】

2022年11月14日 19：00～20：00 集い場の反省点を協議、自主企画研修について

2023年1月16日 19：00～20：00 集い場リアルについて

【研修等】

2023年2月16日 第5回集い場 「成年後見の実は」
—それぞれの立場で語る成年後見を取り巻く環境—

3月12日 14：00～16：20 自主企画研修 集い場リアル



ブロックインフォメーション ④

西はりまブロック（ブロック長 岸 剛健）

【活動予定】

2023年度 西はりまブロック交流会（集い場）プレミアムフライデー

毎月最終金曜日 Zoomにて開催。講師等の詳細は決まり次第ホームページ、Facebook等へアップしますのでご期待ください。



ブロックインフォメーション ⑤

丹波ブロック（ブロック理事 内藤 篤志）

【活動報告】

【会議】

2022年11月9日

【研修】

2023年1月21日 社会保険制度（障害年金、傷病手当金）

【交流会】

2023年1月21日



但馬ブロック (ブロック理事 下中 智晃)

【活動報告】

【会議】

2022年11月5日 19時30分～ 役員会

新人会員との意見交換会について、ケアマネ協会の研修への共催について、3月研修（川村隆彦先生）の実施について、2023年度総会について

2023年2月7日 20時～役員会

ケアマネ協会との共催研修の実施について、3月研修（川村隆彦先生）の実施について

【研修】

2023年2月18日 ケアマネ協会との共催研修 「8050問題」

2023年3月21日 川村隆彦氏 研修会 『支援者が成長するための原則』



淡路ブロック (ブロック理事 古家 英敬)

【活動報告】

【会議】

2022年10月29日 理事会報告、自主ゼミへの参加について 等

2023年1月28日 理事会報告、LINEグループの運用について、自主ゼミについて、今後の活動について、Zoom交流会について

2023年2月26日

【研修会】

2023年3月11日 19時00分～21時00分 「意思決定支援について～オモイをカタチに～」

【交流会】

2022年10月29日 19時30分～21時30分 オンラインにて

委員会 ① だより

研修委員会

委員長 綴木くみこ

【活動報告】

◇委員会 (Zoom)

2022年

12月10日 18:30~21:10 出席者7名

2023年

1月28日 18:30~20:30 出席者6名

2月18日 18:30~19:30 出席者7名

3月18日 18:30~20:00

◇福祉専門ゼミナール「こうのとりのゼミ」

2022年度後期 (Zoom)

共通テーマ【社会的養護の現状】

第2回 2022年12月9日 19:00~20:30

「社会的養護における心理支援の実際～児童自立支援施設での取り組みを中心に～」

樋口 純一郎氏

受講者：17名

第3回 2023年1月13日 19:00~20:30

「ファミリーホームを身近に感じて頂きたく、ライブ中継します～なかのこの里より～」

中野 秀彦氏

受講者：17名

◇マインドフルネス基礎講座 (Zoom)

2022年12月9日 19:00~20:30

受講者：14名

2022年12月16日 19:00~20:30

最終回 受講者：19名

◇会員交流会事業 (忘年会・Zoom)

2022年12月17日 18:00~20:00

参加者：12名

委員会 ② だより

調査研究委員会

委員長 竹森美穂

【活動報告】

2022年12月4日 (県福祉センター)

2023年1月13日 (Zoomにて)

2023年2月4日 (Zoomにて)

◇2023年度委員会スローガン

—調査研究委員会、実践研究・報告を知ってもらう—

本委員会では上記を2023年度のスローガンに進めてまいります。皆様の実践研究・実践報告への取り組みの支援に努めたいと思います。また、一緒に委員会を盛り上げてくださる方を随時募集中です。ぜひお気軽にご参加ください。

◇実践研究発表会・実践報告会の開催準備進行中

2022年実践研究発表会・実践報告会にご参

加を頂いた皆様、ありがとうございました。次年度開催に向けても、準備を進めてまいります。速報版のチラシが同封されていると思いますので、ぜひご覧の上、ご参加ご予約ください。

◇兵庫県社会福祉士会会員への実践研究・実践報告に関するアンケート調査

ひよこメールリングリストにて、実践研究・実践報告への取り組み実態と、県福祉士会による研究誌の発行について、ご意見を頂くことを目的に上記のアンケート調査をお願いしました。回答にご協力を頂きました方には、感謝申し上げます。調査結果ができましたら、このとり通信でも報告をさせていただきます。



国家試験対策委員会

委員長 毛利庸靖

【活動報告】

<会議>

2022年12月4日 定例委員会（10名）直前対策講座の役割分担、試験激励・労い&試験解答速報、速報ライブについて

2023年1月9日 定例委員会（11名）直前対策講座、養成校講師派遣の報告、2月5日の試験当日について

2023年2月26日 定例委員会

<講師派遣等>

2022年

12月15日、22日 神戸女子大学主催 直前対策講座への講師派遣（毎週木曜日・2回）

2023年

1月5日～1月26日 神戸女子大学主催 直前対策講座への講師派遣（毎週木曜日・4回）

1月8日、9日 本会主催 直前対策講座（2日間計8科目）

1月10日、12日 関西学院大学 直前対策講座への講師派遣（2日間計5科目）

2月5日 試験当日 会場での激励・労い、試験解答速報の作成・公表

・試験解答速報（試験当夜22時に掲載、翌日に一部解答修正）

・新たな試みとして「試験解答速報ライブ」を19時から20時まで開催、30名余り参加。



広報委員会

委員長 中山貴之

【活動報告】

<会議>

・第4回 2022年11月24日
広報誌Pocket 記事内容について

広報誌Pocket 2023年3月発行

委員会 ⑤
だより

相談委員会

委員長 大庭 絵里

【活動報告】

ヤングケアラー交流会

相談委員会では昨年度12月、1月、2月、の3回にわたり「ヤングケアラー交流会」を開催しました。1月の「ヤングケアラー経験者の方を囲んで」では、福祉センターにて、話題提供者の方と、元ヤングケアラーの方々と経験を語り合う交流会を実施しました。

1月は3名、2月は1名と、少ない参加者ではありましたが、今後も継続することで、ケアラーの人たちと「何かの時にはつながれる居場所」になればと考えています。

2023年1月15日

「ヤングケアラー交流会」に参加して

加藤 美奈子

話題提供者の「家族に寄り添えなかった」お話を聴いて、私も寄り添うなんてとてもできなかったし、当時は「こんなおかしな家族はうちだけじゃないかな」と思っていました。

た。すると「そう言えば高1の夏休み1ヶ月家に帰らなかった」ことや「早く家から出なくて自宅から通学可能な大学であったにも関わらず一人暮らしを始めた」エピソードも話されました。それを聞いてまた私も通勤可能であったにも関わらず就職と同時に寮に入ったことを思い出しました。とにかく家から離れたかった。

「そうそう、そうだった」と思える話のできるひとに出会えて良かったです。場を提供してくださり有難うございました。

会場：県福祉センター、およびオンライン

2023年度「ヤングケアラー交流会」（オンラインのみ）の開催予定

5月13日（土）、8月12日（土）、11月11日（土）、いずれも14：00～15：30

参加できる人：ヤングケアラー、またはその支援者、元ヤングケアラー経験者の方々

委員会 ⑥
だより

ソーシャルワーク研究委員会

委員長 真利 敦子

【活動報告】

学習会 テーマ：「Que dios te bendiga
（神のご加護）のソーシャルワーク」

実施日：2023年1月8日 10～12時

開催方法：オンライン

参加人数：16名

感想や学んだこと：担当会員の実践報告を元に、みんなでソーシャルワーク理論やアプローチに当てはめながら意見交換を行いました。

ました。

【2023年度の開催日程（予定）】

奇数月 日曜日 10時～12時

2023年5月14日、7月9日、9月10日、11月12日

2024年1月14日、3月10日

いずれもオンライン開催

（社会福祉士会の行事等と重なった場合は、変更の可能性があります。ご了承ください。）



高齢者・障害者虐待対応委員会

委員長 田島啓子

詳細はP23のTeam Gをご参照ください。



ぱあとなあ兵庫

委員長 奥住 剛

【活動報告】

1. 家裁などの候補者の推薦

2022年

- 10月 依頼件数 19件 応募者数32名
候補者推薦数 17件 再々募集2件
- 11月 依頼件数 20件 応募者数39名
候補者推薦数 20件
- 12月 依頼件数 23件 応募者数30名
候補者推薦数 23件

2023年

- 1月 依頼件数 16件 応募者数19名
候補者推薦数 10件 推薦前5件

2. 会議・研修等

2022年

- 10月22日 10月運営委員会 出席者26名
- 11月26日 11月運営委員会 出席者25名
- 12月24日 12月運営委員会 出席者25名

2023年

- 1月26日 1月運営委員会 出席者30名

2022年

- 10月19日 未成年後見小部会家裁交流会
19名参加
- 10月21日 家裁本庁連絡会 出席者：委員
長・副委員長
- 10月29日 都道府県ぱあとなあ連絡会出席

12月4日 県社協主催 令和4年度兵庫県
権利擁護・成年後見推進会議

成年後見人人材育成研修終了 修了者56名

1日目：8月27日、2日目：9月14日、
3日目：10月9日、4日目：11月3日、
全日程終了

⇒12月11日：名簿登録者研修 56名＋再
履修者2名

活動報告システム オンライン説明会

2022年11月14日、11月18日、11月19日

2022年12月 都道府県士会会員対象説明会

2023年1月23日神戸家裁家事連絡協議会

神戸市・伊丹市中核機関
体制整備の取組発表

2023年1月28日、29日 未成年後見人養
成研修実施 県内15名＋県外13名受講

2023年2月26日 児童養護施設長講演
13名申込

活動報告システム 入力会開催

2023年2月4日、2月13日、2月15日、
2月18日

2023年2月20日 家裁本庁連絡会 zoom
会議

1月活動報告書 ITシステムにより
2月末締切 運営委員により報告チェック



地域包括支援センター支援委員会

委員長 山内賢治

【活動報告】

2022年

11月6日 13:00～16:00 定例委員会開催

12月2日 19:30～20:00

困難事例対応力向上研修 演習① 講師
打ち合わせ

12月20日 19:30～20:30

困難事例対応力向上研修 管理者向け
講師打ち合わせ

2023年

1月8日 13:00～15:00

1月16日 20:00～21:00

困難事例対応力向上研修 演習② 講師
打ち合わせ

困難事例対応力向上研修 (B日程)

【共通研修】11月16日 10:00～16:30

【演習①】12月14日 13:20～16:40

【管理者向け】1月17日 13:20～16:40

【演習②】2月21日 13:20～16:40



こども家庭支援委員会

委員長 福井良江

【活動報告】

<会議>

2022年

11月27日 10:00～12:00

委員会開催 (オンライン) 13名参加

12月17日 10:00～12:00

(オンライン) 10名参加

2023年

1月7日 交流学習会後

委員会実施 (集合) 10名参加

3月4日 10:00～

<研修>

2022年12月4日 問題解決型ケース会議研修

(集合型研修) 4回連続講座4回目

実施 福祉センターにて

14名出席/26名申込

2023年1月7日 10:00～11:30

児童家庭支援センターとの交流学習会

(委員会内勉強会)



実習教育支援委員会

委員長 岸 剛 健

【活動報告】

<会議>

2022年

11月26日 18:30~20:00
近畿ブロックの動向について

2023年

2月1日 養成校連絡会の日程について
2月15日 養成校連絡会の開催について打
ち合わせ

<研修等>

2022年11月26日、27日、12月18日
実習指導者講習会 104名受講
2023年3月1日 第19回養成校連絡会 18:30

<開催行事予定>

2023年度実習指導者講習会
2023年11月11日（1日目・Zoom）、
12日もしくは12月10日（2日目・兵庫県福
祉センター）

<お知らせ>

実習教育支援委員会ではメンバー募集を
行っています。現在実習指導に携わってお

られる方やこれから携わる方、実習指導に
興味がある方など。一緒に未来の社会福祉
士養成をよりよくしていきましょう。委員
会は不定期の開催となっておりますので、
まずは「委員会見学希望」用紙をお送りく
ださい。

<会員のみなさまへのアンケートのお願い>

ソーシャルワーク機能を発揮できる社会
福祉士を養成することを目指し、令和元年
6月28日に、厚生労働省より「社会福祉士
養成課程における教育内容などの見直しに
ついて」が公表され、令和2年に関係法令・
通知が発出されました。

その内容を踏まえ、令和3年度より新た
な社会福祉士養成課程に基づく養成教育が
開始されています。

会員のみなさまの所属されている施設や
機関等でもソーシャルワーク実習を受け入
れておられると思います。新たな養成教育
のもと行われたソーシャルワーク教育につ
いてのみなさまの体験や感想、ご意見など
をお聞かせください。

(アンケート) <https://onl.tw/skga GX>



独立型社会福祉士支援委員会

委員長 樹下 和 幸

【活動報告】

<会議>

2022年12月7日 19:00~
倫理学習会について、メールマガジンに
ついて
2023年1月31日 19:00~

倫理学習会について、次期委員長・副委
員長に関して、メールマガジンについて

<研修>

2023年2月11日 13:30~16:30
倫理学習会



障がい福祉委員会

委員長 大塚真由美

【活動報告】

<会議>

2022年11月13日、2023年1月22日

<研修等>

2023年2月5日

拡大学習会 発達障がい者について



更生支援委員会

委員長 佐藤寛士

【活動報告】

<会議等>

2022年11月18日

19時からZoomにて「更生保護施設」に関してミニ学習会開催。

講師 播磨保正会 樋口和子氏

フォレンジックソーシャルワーク研修開催についての話し合い。

社会福祉専門職の名簿登載の話し合いを持ち、登載者の選定を行った。

11月24日付けで名簿を弁護士会側へ送付。

2023年3月14日 17時から弁護士会とPT会

3月16日 14:30~17:00

弁護士会と出口支援のPT会(事例検討会)

3月17日

19時から委員会開催。ミニ学習会の内容(入口支援に関して)

<研修>

2023年1月8日

フォレンジック・ソーシャルワーク研修開催 参加者40名



地域移行支援委員会

委員長 清原幸代

当委員会は、地域移行支援をテーマに、退院支援員への支援会議や学習会を開催しています。

2020年度より退院支援の課題とともに、神出病院における虐待事案について弁護士会、精神保健福祉士協会等7団体において学習や意見交換等を進めるとともに、精神科医療等の現場で職員による虐待が起きている背景や問題を考えています。

委員会は奇数月の第4木曜日の19時から開催しています。地域移行支援の経験がある方

やご関心がある方は、ぜひ、ご参加・ご見学をお待ちしています。(委員会への見学は事務局までご連絡ください)

(定例委員会)

奇数月の第4木曜日(19時~21時)

次回以降 5月25日、7月27日

※新型コロナの感染状況等により、オンライン形式または集合形式となります。

【活動報告】

- 第4回定例会 2022年12月4日
10時から12時 福祉センター201号室
参加8名
出席者の自己紹介と近況
議題等 2023年度事業計画・予算について
滞日外国人支援については、認証研修ではなく、3回程度のシリーズで子供、障害、貧困などの社会問題と外国人の置かれている課題とを交えて、関心を持ってもらえるように企画する。
委員会内に担当を設けて進める。
- 第5回生活困窮者支援委員会 アウトリーチ版
2023年2月4日 13時30分から16時30分
場所 西宮市社協 地域共生館ふれぼの
参加者 6名
内容：見学とお話 意見交換
テーマ 西宮社協
「地域共生館ふれぼの」見学と西宮社

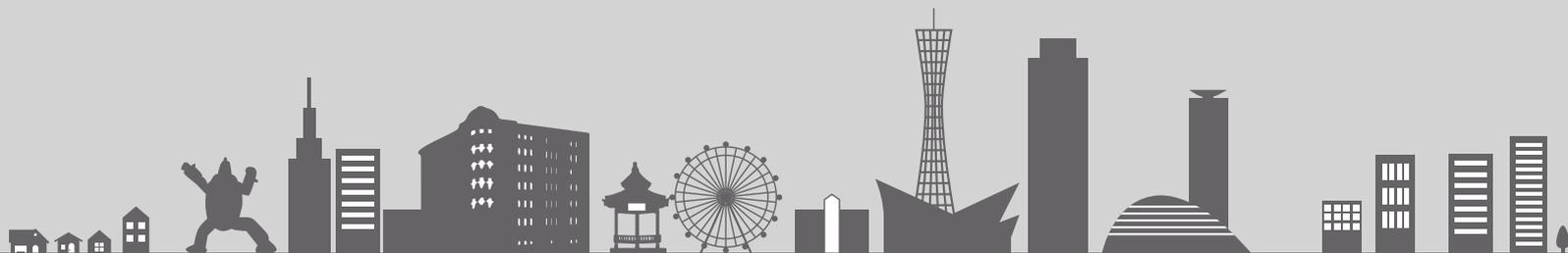
協の取り組み

お話 西宮社協 副理事長 清水明彦さん
ねらい：様々な生活課題がある方たちを地域で受け止め、支えるという「地域共生社会」づくりに向けた実践を学ぶ

*ふれぼのは障害者の生活介護事業所がベース。ほかに交流室会議室があり、高齢者から子供、子育て中の方など障害の有無、年齢、所属など関係なく集える居場所である。今回は土曜日で、生活介護事業のみ運営されていた。壁に様々な住民の方が企画した写真展の写真が展示されていた。

いろいろな人が行き交う混ざり合う、楽しみあう。語り、話し合う。成果も、そのプロセスも、大事なこと。

大変なことも多いと思うが、何とかしていく・・・そんな楽観的な視点も住民の方と作る活動には欠かせない。





災害支援委員会

委員長 西野佳名子

当委員会は、県内外の自然災害等に対し、職能団体としてソーシャルワークを生かした専門的な支援を行うため、災害支援を行える人材（登録者）の養成に取り組んでいます。

また、災害支援にかかるマニュアルの検討を進めるとともに、定期的に委員会を開催しています。

【活動予定】

<定例委員会>

偶数月の第1火曜日（19時～21時）

次回以降 6月6日（火）、8月1日（火）

オンライン形式

委員会責任者名

Committee person in charge

| | | | |
|-----------------|-------|---------------|-------|
| 研修委員会 | 綴木くみこ | 子ども家庭支援委員会 | 福井 良江 |
| 調査研究委員会 | 竹森 美穂 | 実習教育支援委員会 | 岸 剛健 |
| 国家試験対策委員会 | 毛利 庸靖 | 独立型社会福祉士支援委員会 | 樹下 和幸 |
| 広報委員会 | 中山 貴之 | 障がい福祉委員会 | 大塚真由美 |
| 相談委員会 | 大庭 絵里 | 更生支援委員会 | 佐藤 寛士 |
| ソーシャルワーク研究委員会 | 真利 敦子 | 地域移行支援委員会 | 清原 幸代 |
| 高齢者・障害者虐待対応委員会 | 田島 啓子 | 生活困窮者支援委員会 | 谷口 智昭 |
| ばあとなあ兵庫 | 兎住 剛 | 災害支援委員会 | 西野佳名子 |
| 地域包括支援センター支援委員会 | 山内 賢治 | | |

委員会活動に興味・関心のある方は、委員会見学申込書をご利用ください。

委員会見学申込書の書式は、本会会員専用ページからダウンロードすることができます。

メーリングリストのお知らせ

研修やイベント等の開催にあたり、台風等の自然災害により開催日時が変更になる場合があります。緊急のお知らせは「ひよこメーリングリスト」で発信しますので、登録しご確認できるよう、宜しくお願いいたします。

【メーリングリストに登録して便利なこと】

- メーリングリストに登録している全会員に対して、一斉に且つタイムリーに研修や職員募集等の情報を配信できます。
- こうのとりに通信への記事掲載が間に合わないなど、一部の情報はメーリングリストでしか配信されないものもあります。
- 災害時においては、会員の安否確認や被害状況の共有もできます。

【メーリングリスト利用の注意点】

- ご登録いただいているメールアドレスへの配信が何らかの理由で5回エラーが記録されるとシステム上、自動的に登録解除となります。
- 他者への誹謗中傷、公序良俗に反するものでなければ情報配信いただけますが、メーリングリストは情報共有がメインとなるためディスカッションの場として活用することをご遠慮ください。また、メーリングリストへの投稿がふさわしい内容か配信前に今一度ご確認ください。
- メーリングリストには携帯電話のアドレスで登録している方もいるため、早朝・深夜の時間帯はなるべくお控えください。

【ひよこメーリングリスト登録方法】



1. 「兵庫県社会福祉士会」のホームページにアクセスします。
URL : <http://www.hacsw.or.jp/>
※ スマートフォンからもアクセスできます。

QRコードはこちら ⇒ 

2. 「メーリングリスト登録フォーム」のボタンをクリックします。

3. 登録申込フォームが開くので、会員番号・氏名等の必要事項を記入し、「送信内容を確認する」ボタンをクリックします。

4. 入力内容を確認し、間違いがなければ「送信」ボタンをクリックします。

※事務局で会員確認した上での登録となりますので、即日登録できないことをご了承ください。

障害年金

原則20歳～64歳で病気やケガで
障害をお持ちの方が申請可能です！

このようなことでお困りなら・・・



初回面談無料!

初回面談では申請に関わる要件・受給の見込みや金額などをお答えします

ほとんどの病気やケガが対象です

| | |
|-------------|--|
| 精神疾患 | うつ病・双極性障害・統合失調症・知的障害・発達障害・高次脳機能障害・認知症・てんかん など |
| 内臓疾患 | がん・心筋梗塞・心不全・大動脈解離・ペースメーカー・肺炎・慢性肝炎・腎臓病・糖尿病・人工透析・ぜんそく など |
| 肢体障害 | 脳梗塞・脳出血・リウマチ・人工関節・交通事故やケガの後遺症・切断・ヘルニア・脳性麻痺 など |
| 眼・耳 | 弱視・網膜症・緑内障・難聴 など |
| その他 | メニエール病・難病・線維筋痛症 など |

～選べる4つの相談室～ お近くの相談室へお電話ください

本社西宮相談室
阪神西宮駅徒歩3分

☎0798-37-1223

神戸三宮相談室
JR三ノ宮駅徒歩3分

☎078-855-6288

姫路相談室
JR姫路駅徒歩5分

☎079-287-6241

大阪相談室
阪神野田駅徒歩3分

☎06-6136-3821

牧江社会福祉士事務所 社会保険労務士法人牧江&パートナーズ

併設：兵庫・大阪障害年金相談センター
〒662-0971 西宮市和上町5番9号 西宮ビル



うすき行政書士事務所 (うすき社会福祉士事務所併設)

いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉サービス事業所を立ち上げたい。
- 新しく会社やNPOを興したいと考えている。
- 認定NPO等の準備を考えている。
- 社会福祉法人・医療法人を設立したい。
定款変更・規則作りなど運営内容に助言がほしい。
- 保育所・認定こども園をやりたい。
- 成年後見を活用したほうがいい方がいる。
- 遺言書、遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

・各種公益法人(社団・財団・社福・医療)の設立手続き ・株式会社、NPO法人など設立手続き ・障害福祉サービス事業の手続き
・介護・障害サービス等の設立手続き等 ・介護タクシーの許可取得 ・遺言書、遺産分割協議書作成
・相続対応や成年後見制度の活用など ・クーリングオフなどの内容証明郵便作成 ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係
・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 など(弁護士、司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

これからも初心を忘れず

うすき行政書士・社会福祉士事務所 (大口事務所 併設)

兵庫県西宮市本町7番15号

(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

ご相談はこちらまで。
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

お電話はこちら！

0798-34-3999

☎090-9264-7594

☎sp8c6h89@aurora.ocn.ne.jp

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。)

最新情報を確認!～令和3年度 使用者による障害者虐待の状況等

「障害者虐待」とは、次の3つを言います。

- ① 養護者による障害者虐待 ② 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待 ③ 使用者による障害者虐待

厚生労働省から上記のうち、「令和3年度使用者による障害者虐待の状況等」の結果が公表されました。

都道府県労働局は、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」（以下「障害者虐待防止法」という）に基づき、都道府県などの地方公共団体と連携し障害者（※1）を雇用する事業主や職場の上司など、いわゆる「使用者」による障害者への虐待防止や虐待が行われた場合の関係法令に基づく是正指導に取り組んでいます。

厚生労働省は、今回の取りまとめ結果を受けて、引き続き、地方公共団体との緊密な連携を図りながら、使用者による障害者虐待の防止に取り組んでいくとのことです。

【ポイント】

1. 通報・届出があった事業所数（※2）は、前年度と比べ3.7%減少し、1,230事業所。
通報・届出の対象となった障害者数は、前年度と比べ1.6%増加し、1,431人。
1. 虐待が認められた事業所数（※2）は、前年度と比べ2.2%減少し、392事業所。
虐待が認められた障害者数は、前年度と比べ0.8%増加し、502人。
2. 認められた虐待の種別（※3）では、経済的虐待が420人（77.6%）と最も多く、次いで心理的虐待が61人（11.3%）、身体的虐待が32人（5.9%）。



※1 障害者とは、「身体障害、知的障害、精神障害（発達障害含む）その他心身の機能の障害（以下「障害」と総称する）がある者であって、障害および社会的障壁により継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの」（障害者基本法第2条1号）としており、障害者手帳を取得していない場合も含まれる※2 事業所数は、通報・届出の時期、内容が異なる場合には、重複計上している※3 ひとりの被虐待者に複数の虐待が認められた場合は、重複計上している。

【虐待の定義】（障害者虐待防止法第2条第8項第1号から第5号）

■身体的虐待

障害者の身体に外傷が生じ、若しくは生じるおそれのある暴行を加え、または正当な理由なく障害者の身体を拘束すること。

■心理的虐待

障害者に対する著しい暴言、著しく拒絶的な対応または不当な差別的言動その他の障害者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

■経済的虐待

障害者の財産を不当に処分すること、その他障害者から不当に財産上の利益を得ること。

■放置等による虐待

障害者を衰弱させるような著しい減食又は長時間の放置、当該事業所に使用される他の労働者による上記3つの虐待行為と同様の行為の放置、その他これらに準ずる行為を行うこと。

■性的虐待

障害者にわいせつな行為をすること、または障害者をしてわいせつな行為をさせること。



【より詳しく知りたい方は、下記のWebサイトをご覧ください】

厚生労働省 HP 『「令和3年度使用者による障害者虐待の状況等」の結果を公表します』

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000172598_00007.html



「虐待対応Q & A」

Q.被虐待者本人に虐待を受けている認識（自覚）がないケースや
被虐待者本人が行政の介入を望まないケースについても虐待対応が必要でしょうか？

A.ネグレクトや心理的虐待等の場合、被虐待者である高齢者本人に「虐待を受けている」という認識がないケースもありますが、被虐待者本人の自覚の有無にかかわらず、客観的に高齢者の利益が侵害されていると確認できる場合には、虐待の疑いがあると考えて対応する必要があります。

また、自覚はあっても、「介護をしてもらい世話になっているから」と我慢したり、諦めの気持ちから虐待を甘受し行政の介入を望まない場合においても、高齢者の尊厳の保持の重要性について理解してもらい、対応する必要があります。（出典：養護者による高齢者虐待対応Q&A）



| 高齢者・障害者虐待対応委員会の動き (2022年12月～2023年2月) | |
|---|---|
| 日付 | 活動内容 |
| 【講師派遣】 | |
| 12月13日 | 西はりま権利擁護センター 高齢 |
| 12月15日 | 伊丹市 社協 障害 |
| 12月23日 | 神戸市 あんしんすこやかセンター 高齢 |
| 1月20日 | 芦屋市 包括 |
| 2月10日 | 豊岡市 行政・包括 |
| 2月10日 | 佐用町 社協 高齢障害 |
| 2月14日 | 丹波市 行政・包括 高齢 |
| 2月17日 | 神戸市 医療機関 |
| 2月22日 | 小野市 高齢 |
| 2月24日 | 神戸市 社協 |
| 2月25日 | 明石市 医療機関 高齢 |
| 【専門職チーム派遣】 | |
| | 派遣なし |
| 【弁護士とのワーキング】 | |
| 12月16日 | 通常ワーキング |
| 2月2日 | 大阪弁護士会との意見交換会 |
| 【県委託向上研修】 | |
| 12月6日 | 障がい者虐待対応力向上D研修 姫路 |
| 12月16日 | 高齢者虐待対応力向上D研修 姫路 |
| 1月19日 | 障害者虐待対応力向上B研修オンライン |
| 1月25日 | 障害者虐待対応力向上C研修オンライン |
| 1月26日 | 障害者虐待対応力向上D研修オンライン |
| 2月7日 | 高齢者虐待対応力向上C研修オンライン |
| 2月14日 | 高齢者虐待対応力向上B研修オンライン |
| 2月17日 | 高齢者虐待対応力向上D研修オンライン |
| 【定例委員会・臨時委員会】 | |
| 12月16日 | 定例委員会 |
| 2月25日 | 定例委員会 |
| 【相談員派遣】 | |
| 毎月第1・3・5 火・木曜日 | 兵庫県弁護士会主催 「高齢者・障害者のための弁護士 電話法律相談」 |



おすすめ Book



家族遺棄社会

孤立、無縁、放置の果てに。

菅野久美子 著
KADOKAWA

本の題名を見て、家族を遺棄する社会なんて…と想像する事が思い当たらなかった。しかし、子供の頃から親の虐待や放棄を受け、大人に成長した後、要介護状態の親の面倒を見ていくことを捨てたい子、孤独死した親の引き取りを拒否したりする人等の現実がある。一人ひとりの身の上に、親の面倒や介護が襲い掛かろうとしている現実がある。

家族を放棄・遺棄していく社会の真実と、対面的に社会に懸命に向き合う人々の実態について関わっていく内容である。昨今のコロナの状況で家族や社会との関わりが薄くなっている現在、今後社会との関わりをどう考えていき、いかに自分の居場所や日常生活が維持できるかどうか考えさせられる。一人で死ぬのは、決して美学ではなく、大切なのはちよとしたつながりである。

業務上、要介護者の家族に対して介護等について関わりを押しつけること無く、皆で一緒に考えて行きながら、拒否されること無く、生活が維持できるように支援していく事が出来る社会が継続出来たらと考える日々である。

高齢者・障害者虐待対応委員会 高橋豊

【オンライン研修の受講方法・注意事項（2023年度版）】

オンライン研修を受講いただくにあたり、事前に準備いただきたい事項・使用機器等についてご案内いたします。

★Zoom アプリのダウンロード（Zoom 初回利用時のみ必要）

本会のオンライン研修では、Zoom ミーティングを使用します。

研修受講日より前に、余裕をもって Zoom アプリを下記 URL からダウンロードしてください。

<https://zoom.us/download> 「Zoom デスクトップ クライアント」の「ダウンロード」をクリック。

なお、研修を受講するだけの場合、Zoom アカウントの取得（サインアップ）は不要です。

★使用機器の確認

受講にあたっては、下記の機器の用意をお願いします。原則としてパソコンで参加してください。

- ・ ウェブカメラ：自分の顔を写すために必要
- ・ マイク：自分の声を相手に届けるために必要
- ・ スピーカー：相手の声を聞くために必要。ヘッドホンやイヤホンでも代用可。

※研修受講時に使用するパソコンに上記3点が備わっているか確認ください。

装備されていない場合は別途ご準備ください。

★通信環境の確認

スマートフォンの回線では、契約内容によっては通信上限を超える場合があることや、通信回線の混雑等でオンライン研修に参加できない可能性もあるため、フレッツ光・au ひかり・NURO 光などの光ファイバー網を使った通信回線を推奨します。

※通信環境により、講義の内容が聞こえにくくなる場合があります。安定したインターネット環境（できれば有線 LAN 接続）での受講をおすすめします。

※本研修に参加いただく際の通信料およびインターネット接続、通信機器利用に関する料金については、各自負担でお願いします。

※使用機器のアップデートなど余裕をもって行い、受講当日の機器内の環境を整えておいてください。

★事前テストについて

Zoom アプリをダウンロードしたら、事前に接続テストを行うことをお勧めします。

<https://zoom.us/test>

★その他

受講者の通信環境、通信機器の原因により、当日参加できない場合の返金はいりませんので、予めご了承ください。

■受講時の注意事項

1. 講義中の Zoom 設定について

オリエンテーション・講義・演習中は、原則「ビデオの開始」状態にしておいてください。
認証研修では、音声・ビデオ通信等により双方向性が担保されることが必須条件です。

2. 出席確認・修了要件について

受講証の発行はせず、オンライン上で出席の確認をし、事務局にて出席管理をします。

10分以上の遅刻・早退があった場合は、研修修了として認められません。

オンライン研修時の通信不良により画面が映らない、音声が届かない場合も離席扱いになります。
長時間そのような状況が続く場合は修了できません。

車を運転しながら・歩きながら・移動しながら・公共機関を利用しながら・商業施設や公共の場所を利用しながらの受講は認められません。

3. 欠席について

研修は原則、全日程の受講が可能な方を対象としています。

研修日をご確認の上、お申込みください。

※振替受講、再履修については、研修ごとに要件が設定されていますので、各研修担当者にお問い合わせください

4. 課題について

科目によって、事前課題・中間課題・科目修了レポート等があります。

原則として期日までに課題の提出がない場合や課題内容に不備がある場合は、講義出席が認められない又は修了が認められません。

詳細は受講決定時にお知らせします。Word・Excel・PDF ファイルのオンライン提出を原則とします。講義中に、作成した事前課題等を画面共有する場合がありますので、ご了承ください。

5. 講義資料について

各講義資料は、講義1週間前を目途に指定 URL へ掲載します。

受講生各自でのダウンロードもしくは印刷をお願いします。

事務局より印刷・郵送は致しかねますのでご了承ください。

6. 受講時および研修資料に関する禁止事項

研修中、以下の事項を禁止としております。

- ・研修実施時の写真撮影、録画、録音、またはそれに準ずる行為
- ・本研修受講やご本人様の復習以外の目的での研修資料の使用

例1. 研修で使用する資料ファイルを社内外の方に共有すること

例2. 研修で使用する資料の画像などを公開すること

例3. 研修で使用する資料を複製すること

(問い合わせ先) 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会事務局

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3F

TEL: 078-265-1330 FAX: 078-265-1340

■よくある質問

Q 自宅にパソコンがないので、職場から受講してもいいですか？

A 自宅での受講を必須としていませんが、「講師の声が聞き取りやすい静かな場所であり、受講者同士の意見交換の際、声を出せる環境」をご用意ください。

他の職員の話し声や電話のコール音が頻回に聞こえてくる、他の職員が頻回に画面に映るなど、講師や受講者が集中して参加できないような環境やご自身の周りの方に迷惑をかけてしまうような環境での受講はお控えください。

Q スマートフォンで受講してもいいですか？

A 原則としてパソコンを使用してください。パソコンの不調などのトラブル時に代替的手段としてタブレットやスマートフォンでの参加（＝保険）としてご理解ください。

Q 顔を表示させずに参加してもいいですか？

A 受講されている様子を目視で確認します。そのため、「ビデオの停止」のまま受講されていますと受講確認ができませんので、研修修了となりません。

また、仮想背景の使用については制限をしますが、解像度により本人の顔が見えなくなる場合は使用を控えてください。

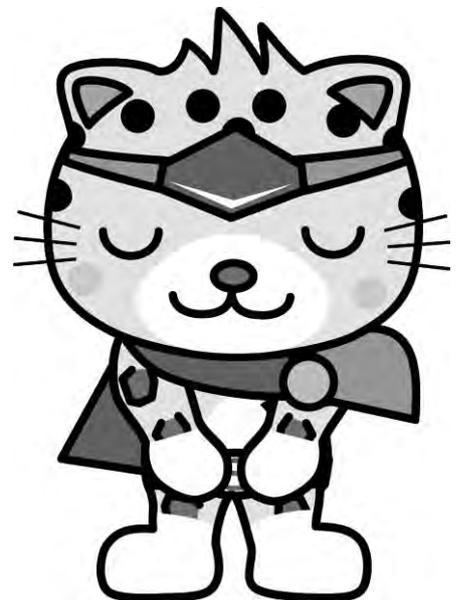
Q 音が聞こえない・映像が映らない・マイクが反応しないなどの不具合がある。

A 一旦 Zoom から退室し、パソコンを再起動して Zoom に入りなおしてください。

その際は事務局までご連絡ください。使用機器などのトラブルによる一時的な離席の場合、修了不可とはしませんので、ご安心ください。

Q パソコンの調子が悪い。操作がわからない。

A こちらは対応できかねますので、メーカー等のサポートセンターへお問い合わせください。



■研修資料の著作権について

本会が主催する研修では、研修に参加される方の学びを深め、研修の目的を達成するために、参加者に直接あるいはインターネットを通じてデータをダウンロードしていただくなどの形で、さまざまな研修資料を配布しています。

これらの配布資料は、著作権法により著作者の権利が保護されています。したがって、著作者が明示的に許可した場合を除き、研修参加者が著作権法に認められている範囲を逸脱して再配布することや、ダウンロードサイトの URL を転送、SNS等での共有、別のサイトにアップロードする方法により再配布することは、法律に抵触する可能性があります。場合によっては訴訟等に発展する恐れがあり、社会福祉士に対する社会の信用を失墜させることにもなりかねません。十分にご注意ください。

なお、レポートや論文等で著作物を使える場合およびその条件については、次のサイトをご覧ください。著作物を引用する場合は、これらの法律を順守してください。

【文化庁 著作物が自由に使える場合】

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

■本会主催研修申込における個人情報の取り扱い等に関する注意事項

個人情報の利用目的

研修申込をいただく際に、名前、住所、電話番号、e-mail アドレス等の個人情報を入力いただきますが、これらの個人情報は、各研修を運営する目的以外では利用いたしません。

個人情報の第三者への開示・提供の禁止

本会では、次のいずれかに該当する場合を除き、個人情報を第三者に開示致しません。なお、業務委託先への提供の場合は第三者への開示または提供にあたりません。

1. 受講申込者の同意がある場合
2. 法令に基づき開示、提供することを求められた場合
3. 国または地方公共団体等が公的な事務を実施する上で、協力する必要がある場合であって、受講申込者の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障が出るおそれがある場合
4. 受講申込者等の生命・身体・財産・名誉を損なうおそれがあり、本人の同意を得ることができない場合
5. 統計的なデータなど本人を識別できない状態で開示・提供する場合

免責事項

- ・各申込期間中のシステムの不具合による、申込未確定、申込不備による申込取消については、免責されるものとします。
- ・当サイトからリンクやバナーなどによって他のサイトに移動された場合、移動先サイトで提供される情報、サービス等について一切の責任を負いません。

令和5年度 医療的ケア児等支援者養成研修

オンデマンド 配信

■配信期間

6月15日(木) 9:00~

7月14日(金) 17:00

■申込締切

5月31日(水) ※必着

医療技術の進歩等を背景として、医療的ケア児が増加しています。こうした状況を踏まえ、医療的ケア児が地域において必要な支援を受けることができるように、関係機関との連携調整を行うための体制を整備することを目的に、国が定めるカリキュラムに基づく研修を実施します。

また、平成30年度障害福祉サービス等報酬改訂における「要医療児者支援体制加算」のためには、「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」(別途案内)を修了した職員配置が必要になります。「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を受講するためには、本研修の修了が必要です。

| | |
|--------------------|--|
| 受講対象 | 地域の事業所等において医療的ケア児等への支援に従事している者(予定含む) 例) 相談支援専門員、行政職員、訪問看護師、児童発達管理責任者、障害福祉サービス事業所従業者、医療機関等従業者、保育所・幼稚園・学校・特別支援学校等で医療的ケア児に関わる者など |
| 受講料 | 2,000円 ※テキスト代別 使用テキストについては受講決定通知の際にお知らせします。 |
| 開催方法 | YouTube 兵庫県社会福祉士会アカウントによる限定公開にて講義動画を配信 ※YouTubeの視聴環境をご用意ください。 |
| 研修内容 (5科目 12時間) | 【総論】①医療的ケア児等支援の特徴 ②支援に必要な概念 【医療】①障害のある子どもの成長と発達の特徴 ②疾患の特徴 ③生理 ④日常生活における支援 ⑤救急時の対応 ⑥訪問看護のしくみ 【福祉】①本人・家族の思いの理解 ②支援の基本的枠組み ③福祉の制度 ④遊びと保育 ⑤家庭支援 ⑥虐待 【連携】①小児在宅医療における多職種連携 ②連携・協働の必要性 【ライフステージにおける支援】 ①各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 ②NICUからの在宅移行支援 ③児童期における支援 ④学齢期における支援 ⑤成人期における支援 ⑥医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援 |
| 修了要件 | 講義動画を全て視聴するとともに事後課題を提出すること。 |
| 申込方法 | 下記URLまたはQRコードから必要事項を入力し、送信してください。 ※Googleから自動返送メールが届けば受付完了とご理解ください。自動返送メールが届かない場合は入力いただいたメールアドレスに誤りがある恐れがありますので、再度お申込みください。 |
| | 【申込フォーム】 https://forms.gle/WKzd4ixG5EXfCqWF8 |



【2023年度 基礎研修 I 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修 I・II・IIIと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2023年9月～2024年1月

2. 開催方法：ZOOMによるオンライン研修

3. 受講要件：

①社会福祉士

（新規入会者、既会員でこれまでの基礎研修課程を受講されていない方、生涯研修制度「共通研修課程修了」申請をされていない方）

②全日程に参加できること。（他府県での振替受講はありません）

③下記事項に同意できること。（詳細は別紙にてご確認ください。）

「オンライン研修の受講方法について」「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」「研修資料の著作権について」

4. 定員：90名（先着順）

※受付は先着順ですが、定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。

5. 受講費：社会福祉士会会員 12,000円 非会員 24,000円

※別途テキスト代：5,000円（予定）

※受講費のお支払いは、受講決定時にご案内します。

※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。

6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/uHPiwtPtK6iRaCC58>

上記URLもしくはQRコードから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。



7. 申込期限：2023年6月30日(金)まで（期限厳守）

8. 受講決定：

受講の可否は、6月上旬以降に「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位：

(生涯研修制度) 基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できます(専門課程10単位+生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分)

(認定社会福祉士制度) 一定年限内に基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できます。

10. 問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階

TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340

Mail：entry@hacsw.or.jp

【 2023年度 基礎研修Ⅰプログラム 】

○基礎研修Ⅰの流れ

受講申込→受講決定→①事前課題→②オンライン研修Ⅰ→③中間課題→④オンライン研修Ⅱ
基礎研修Ⅰは申込から終了までに4ステップあり、それぞれの課題及び研修を終えなければ、次へ進むことはできません。

| スケジュールと研修内容 | |
|-------------|---|
| 2023年4月～6月末 | 受講申込受付期間 |
| 2023年7月 | 受講決定・事前課題案内 |
| 2023年8月 | 事前課題提出締切 8月末(予定) (事前課題内容) 2,000字程度のレポート課題 日本社会福祉士会 e-ラーニング視聴3科目 |
| 2023年9月 | 【開催日】 オンライン研修Ⅰ 2023年9月2日(土) |
| 2023年9月～12月 | 中間課題作成のための講義：実践報告会(オンライン研修) 【開催日】 2023年10月14日(土) または、2023年10月21日(土) ※実践報告会の参加は任意です 中間課題提出締切 12月末(予定) (中間課題内容) 1,200字程度のレポート課題×6本 |
| 2024年1月 | 【開催日】 オンライン研修Ⅱ 2024年1月13日(土) |

【2023年度 基礎研修Ⅱ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2023年5月～2024年2月（全10回）
2. 開催実施方法：ZOOMによるオンライン研修（8回）＋集合研修（2回）

（※科目により、会場での集合研修での実施となります。）

集合研修開催場所：兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通2-1-1）

JR「灘」駅より徒歩10分、阪急「王子公園」駅より徒歩10分

阪神「岩屋」駅より徒歩15分、神戸市営バス92系統「上筒井1丁目」停留所下車すぐ

※原則として福祉センターにお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

（※お申込に際しての留意事項）

集合研修参加の際は、各自でも感染予防対策をお願いします。

現況を鑑みて集合研修をオンライン研修へ変更する場合がありますので、予めご了承ください。

なお、その場合は研修開催日の2週間前を目途にお知らせします。

3. 受講要件：

- ①基礎研修Ⅰを修了した兵庫県社会福祉士会会員
- ②全日程に参加できること。（他府県での振替受講は調整中です）
- ③下記事項に同意できること。（詳細は別紙にてご確認ください。）

「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」

「オンライン研修の受講方法について」

「研修資料の著作権について」

※認定社会福祉士制度の単位として単位取得希望の場合

2018年度～2022年度に基礎研修Ⅱを修了している方が対象となります。

4. 定員：80名（先着順）

※受付は先着順ですが、定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。

5. 受講費：社会福祉士会会員 25,000円 非会員 50,000円

※別途テキスト代：5,000円（予定）

※受講費のお支払いは、受講決定時にご案内します。

※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。

6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/PhhE9FUe495kJRdC7>

上記URLもしくはQRコードから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。



7. 申込期限：2023年4月21日(金)まで（期限厳守）

8. 受講決定：

受講の可否は、5月上旬に「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位：

（生涯研修制度）基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できます（専門課程10単位＋生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分）

（認定社会福祉士制度）一定年限内に基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できます。

10. 申込先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階
TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340
Mail：entry@hacsw.or.jp

【2023年度 基礎研修Ⅱプログラム】

| | 開催日 | 時刻(予定) | 科目 | 開催方法 |
|---|-----------|--------------------------|-------------------------------|---------------------|
| ① | 5月20日(土) | 9:30~17:00 | SW理論系科目Ⅰ | オンライン (ZOOM) |
| ② | 6月17日(土) | 9:30~13:00 | SW理論系科目Ⅰ | |
| ③ | 7月29日(土) | 9:30~17:00 | SW理論系科目Ⅰ (事前課題) | 集合研修 (兵庫県福祉センター) |
| ④ | 8月26日(土) | 9:30~17:00 | 地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題) | オンライン (ZOOM) |
| ⑤ | 9月30日(土) | 9:30~17:00 | 地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート) | |
| ⑥ | 10月28日(土) | 9:30~17:00 | 人材育成系科目Ⅰ | |
| ⑦ | 11月18日(土) | 9:30~17:00 | 権利擁護・法学系科目Ⅰ | |
| ⑧ | 12月16日(土) | 9:30~17:00 | 権利擁護・法学系科目Ⅰ | |
| ⑨ | 1月20日(土) | 9:30~20:30 (夜間まであります) | 実践評価・実践研究系科目 | |
| ⑩ | 2月24日(土) | 9:30~17:00 | 実践評価・実践研究系科目 (事前課題・修了レポート) | 集合研修 (兵庫県福祉センター) |

【2023年度 基礎研修Ⅲ 開催要項】

主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系として実施します。社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

1. 開催期間：2023年5月～2024年3月（全10回）

2. 開催実施方法：ZOOMによるオンライン研修（8回）＋集合研修（2回）

（※科目により、会場での集合研修での実施となります。）

集合研修開催場所：兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通2-1-1）

JR「灘」駅より徒歩10分、阪急「王子公園」駅より徒歩10分

阪神「岩屋」駅より徒歩15分、神戸市営バス92系統「上筒井1丁目」停留所下車すぐ

※原則として福祉センターにお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

（※お申込に際しての留意事項）

集合研修参加の際は、各自でも感染予防対策をお願いします。

現況を鑑みて集合研修をオンライン研修へ変更する場合がありますので、予めご了承ください。

なお、その場合は研修開催日の2週間前を目途にお知らせします。

3. 受講要件：

①基礎研修Ⅱを修了した兵庫県社会福祉士会会員

②全日程に参加できること。（他府県での振替受講は調整中です）

③下記事項に同意できること。（詳細は別紙にてご確認ください。）

「個人情報の取り扱い等に関する注意事項」

「オンライン研修の受講方法について」

「研修資料の著作権について」

※認定社会福祉士制度の単位として単位取得希望の場合

2017年度～2022年度に基礎研修Ⅱを修了している方が対象となります。

4. 定員：80名（先着順）

※受付は先着順ですが、定員を超えた場合は、兵庫県社会福祉士会の会員を優先します。

5. 受講費：社会福祉士会会員 30,000円 非会員 60,000円

※別途テキスト代：3,000円（予定）

※受講費のお支払いは、受講決定時にご案内します。

※原則として、一度ご入金いただいた受講費は、返金できませんのでご了承ください。

6. 申込方法：下記の方法でお申し込みください。

【研修申込フォーム URL】 <https://forms.gle/piJVUKnTJzorMArYA>

上記URLもしくはQRコードから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

※自動返信メールが届いたら、申し込みが完了したとご理解ください。



7. 申込期限：2023年4月21日(金)まで（期限厳守）

8. 受講決定：

受講の可否は、5月上旬に「受講決定通知書」を郵送及びメールにてお知らせします。
必ず、本会からのEメールを受信できるようにお願いします。

9. 研修単位：

（生涯研修制度）基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、基礎課程を修了できます（専門課程10単位＋生涯研修制度独自の研修・実績3.5時間分）

（認定社会福祉士制度）一定年限内に基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3つのすべての研修を修了した場合、共通専門研修10単位を取得できます。

10. 申込先及び問い合わせ先：

兵庫県社会福祉士会 事務局 中村
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階
TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340
Mail：entry@hacsw.or.jp

【2023年度 基礎研修Ⅲプログラム】

| | 開催日 | 時刻(予定) | 科目 | 開催方法 |
|---|----------|--------------------------|--|---------------------|
| ① | 5月27日(土) | 9:30~17:00 | 実践評価・実践研究系科目Ⅰ | オンライン (ZOOM) |
| ② | 7月22日(土) | 9:30~17:00 | 実践評価・実践研究系科目Ⅰ SW理論系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート) | |
| ③ | 8月19日(土) | 9:30~17:00 | 実践評価・実践研究系科目Ⅰ (中間課題・修了レポート) | |
| ④ | 9月9日(土) | 9:30~17:00 | 権利擁護・法学系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート) | |
| ⑤ | 10月7日(土) | 9:30~17:00 | 地域開発・政策系科目Ⅰ (事前課題) | 集合研修 (兵庫県福祉センター) |
| ⑥ | 11月4日(土) | 9:30~20:30 (夜間まであります) | サービス管理・経営系科目Ⅰ | オンライン (ZOOM) |
| ⑦ | 12月2日(土) | 9:30~17:00 | サービス管理・経営系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート) | |
| ⑧ | 1月27日(土) | 9:30~17:00 | 地域開発・政策系科目Ⅰ (中間課題・修了レポート) | |
| ⑨ | 2月17日(土) | 9:30~17:00 | 人材育成系科目Ⅰ (事前課題・修了レポート) | |
| ⑩ | 3月2日(土) | 9:30~17:00 | 人材育成系科目Ⅰ (事前課題) | 集合研修 (兵庫県福祉センター) |

2023年度 成年後見人材育成研修 募集要項

成年後見人等候補者を養成する研修として、成年後見人材養成研修（認定社会福祉士認証・認定機構による認定研修・4日間）を下記の要領で開催する予定です。本研修の修了者は、受任候補者を養成する「名簿登録研修（1日間）」を修了し、権利擁護センターぱあとな成年後見人候補者名簿に登録することになります。（※別途名簿登録料が必要です）

1. 主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会
2. 研修区分 認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修 認証番号：
「分野専門（高齢）ソーシャルワーク機能別科目群 後見制度の活用（成年）2単位」
3. 研修目標 ①専門職後見人として社会福祉士が身につけるべき知識・技術を習得し、権利擁護センターにおける成年後見人としての一定の力量を確保すること。②地域で相談援助にあたる者が、成年後見制度活用の知識、技術を習得すること。成年後見人等として実務を担う社会福祉士（成年後見人等受任候補者）の養成を目的とする。

4. 開催日

| | 日程 | ※全日程受付は9:00～ | 開催方法 |
|------|---------------|--------------|------------------------|
| 第1日目 | 2023年8月5日（土） | 9時10分～17時00分 | Zoomミーティングを使用したオンライン研修 |
| 第2日目 | 2023年9月13日（水） | 9時10分～16時30分 | |
| 第3日目 | 2023年10月8日（日） | 9時10分～16時30分 | |
| 第4日目 | 2023年11月5日（日） | 9時30分～16時00分 | 集合研修 |

※名簿登録研修 2023年12月3日（日）9時30分～17時00分 ※集合研修

5. 会場 第4日目と名簿登録研修は、集合し「兵庫県福祉センター1階 多目的ホール」で開催
(神戸市中央区坂口通2-1-1 JR灘駅より徒歩約10分 阪急王子公園駅 徒歩約10分)

6. 受講対象 次の要件のすべてを満たす者

- (1) 兵庫県社会福祉士会会員。または、本会と契約を交わした都道府県社会福祉士会に所属する社会福祉士。
- (2) カリキュラムの全課程に出席できる者
- (3) 日本社会福祉士会の基礎課程を修了している者、若しくは2011年度までの日本社会福祉士会の旧生涯研修制度の共通研修課程を1回以上修了している者
- (4) 2023年4月1日現在70歳未満の者（兵庫県会員のみ）

7. 定員 50名 ※なお、受講申込者が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することもあります。

8. 受講費 5万円（別途市販テキスト代、約14,000円が必要となります。）
※一旦、納入された受講費は、主催者の責による場合以外は返金いたしません。
※成年後見人材育成研修の受講料です。名簿登録研修は、受講料は不要です。

9. 第1日目から第3日目は、Zoomミーティングによるオンライン研修です。

- ①研修の参加には「個人情報等の取り扱い等に関する注意事項」「オンライン研修の受講方法について」「研修資料の著作権について」各事項に同意をしていただく必要があります。この「このとり通信」のP25～P28をご確認ください。
- ②研修開始前、研修中にすべてオンライン研修に変更になった場合等、受講費の支払い後は受講費の変更、返還はありません。ご承知おきください。

10. 申込 下記のQRコードもしくはURLから研修申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。回答後に自動返信メールが届きますので、メールを保存してください。

Google フォームのURL

<https://forms.gle/r4LcrCAhWsyqqTvF9>



◆申込期間 2023年4月10日（月）～21日（金）

11. 受講決定 受講決定は、あらかじめ決められた定員に基づき、兵庫県社会福祉士会にて決定します。

12. 受講可否の連絡等

- ・受講可否は、5月下旬までに郵便にてご連絡します。
- ・受講申込が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することがありますのでご了承ください。
- ・会場案内、受講費の納入方法、テキストの購入方法、事前課題、およびキャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご案内します。

13. 修了要件

研修の修了には、次の基準を満たす必要があります。

- ・面接授業の出席が100%であること（オンライン研修の場合は、画面上で出席確認）
 - ・事前課題の提出すること
 - ・修了評価で一定の水準を満たすこと
 - ・15分以上の遅刻・早退があった場合は、その課目を欠席したものとみなす。
- （また、15分未満の遅刻・早退は5回で1課目に相当する欠席とみなす。面接授業を欠席した課目数が4課目以内（修了評価をのぞく）の場合は、1期（1年間に限り受講期間の延長を認め、翌年度に欠席した課目を履修し修了評価にて合格することで、本研修を修了することができる。）

14. 研修単位について

(1) 公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度においては、新生涯研修制度では専門課程の2単位となり、旧生涯研修制度では「専門分野別研修」となります。

(2) 本研修は、認定社会福祉士制度の研修として認証されています。

認証科目：後見制度の活用（成年）（分野専門/高齢分野、ソーシャルワーク機能別科目群）

単位数：2単位

認証番号：20180005

注：分野については、認定社会福祉の認定申請をするときに、自身の申請をしようとする分野の単位として扱うことができます。「後見制度の活用（成年）」は、高齢分野のほか、障害分野、医療分野、地域社会・多文化分野の認定申請者も各分野の単位として扱うことができます。

15. カリキュラム (1) 講義・演習等：4日間23.5時間 (2) 事前課題：指定する6課目

| | |
|--------|--|
| 問い合わせ先 | 兵庫県社会福祉士会 事務局（担当 北野） |
| 申込先 | 〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3F 兵庫県社会福祉士会 ぱあとなあ兵庫事務局 partner-jimu@hacsw.or.jp TEL : 078-222-8107 FAX : 078-265-1340 |

【Zoom 研修】



2023 年度前期 福祉専門ゼミナール

愛称：このとりゼミ

全3回 6月9日 / 7月14日 / 8月18日
金曜 夜 19:00~20:30

スペシャリストであり、ジェネラリストでもある社会福祉士は、幅広い知識と技術を有する必要があります。このとりゼミは、多岐にわたる専門分野からエキスパートを講師にお招きする魅力的な講座です。今回は「障がい児者を取り巻く現状と課題」を共通テーマに3講座を開催。料金も3回セットが断然おトク！この機会に是非ご参加ください。

第1回 6/9 (金) 【締切：5/26 (金)】

「医療的ケア児への支援と課題～ソーシャルワークの視点から～」

松原 未佳 氏 尼崎市北部基幹相談支援センター 相談支援専門員、医療的ケア児等コーディネーター

第2回 7/14 (金) 【締切：6/30 (金)】

「知的障害児者と家族に対する相談支援～ライフサイクルを視野に入れたソーシャルワーク～」

植戸 貴子 氏 神戸女子大学健康福祉学部教授

第3回 8/18 (金) 【締切：8/4 (金)】

「発達障害者支援センターにおける関係機関との連携」

和田 康宏 氏 ひょうご発達障害者支援センタークローバーセンター長

料金：3回セット 社会福祉士会会員 5,000円/一般 10,000円【締切：5/26 (金)】
1回ずつ 社会福祉士会会員 2,000円/一般 4,000円【各回ごとの締切日】

準備：PCやタブレット、スマートフォンにZoomアプリ『ZoomCloudMeetings』をインストールのうえ、安定した通信環境でご参加ください。



【申込方法】締切日までに下記 URL か QR コードからお申込みください。

<https://forms.gle/hX9oXYLd94MvXLJ46>

上記の方法でお申込みできない場合は【entry@hacsw.or.jp】宛てに、①メールアドレス②氏名③ふりがな④電話番号⑤会員 or 一般⑥会員番号（会員は必須）⑦受講希望日⑧職場⑨職種を明記し、件名には「このとりゼミ申込み」と必ず記載して送信してください。Zoom の招待メールを受信できるアドレスからの申込みに限ります。

2023年度

発表者募集
実践研究発表会
実践報告会

みなさんが実践されている日頃の活動を
言語化し、発表しましょう！

2023年
11月5日(日)
開催決定！

詳細はこちら
(8/31提出締切)



開催場所

兵庫県福祉センター

申込・問合わせ先

entry@hacsw.or.jp あてにメールにてお願いします

兵庫県社会福祉士会 調査研究委員会



社会福祉士の専門性を向上するために、
調査研究力・発信力を身に着けたい！

新メンバー求む！

調査

こんな方を 求めています

- 専門職の育成に貢献したい方
- 研究経験が無くても調査研究に関心のある方
- これまで論文や学会発表の経験がある方
- 修士課程・博士課程を修了されている方（論文作成の経験があれば、専攻は問いません。）

新メンバー募集の背景

私たちは 意志ある会員の皆様へ、より一層の調査研究の力と発表の場を得る機会を提供したいと考え、現在発行を休止している「（兵庫県社会福祉士会）研究誌」の再開に向けた情報収集を計画しています。

社会福祉士の受験ルートはさまざまで、論文を作成する機会をもたないルートで取得されている方も大勢いらっしゃいます。しかし、これからの社会福祉士に求められることは、社会に向けて取り組みを広く発信することです。そのためには、調査や研究とその発表は欠かせません。

より大勢の会員の方に、調査研究力をつけていただきたい。そのためには、支援する委員会メンバーがもっと大勢必要です。

あなたの経験と力を、ぜひ、役立てて下さい！
あなたのスキルアップにもつながります！

お問合せ・参加のご希望は……entry@hacsw.or.jp
あてにメールをお願いいたします。

委員会活動を見学してみませんか?



委員会活動の様子を見てみませんか?新たな仲間と出会えるチャンスです♪参加資格は、「興味・関心がある」でOK!どなたでも参加いただけます。

下記、見学申込書に必要事項を記入の上、兵庫県社会福祉士会事務局までメールまたはFAXでお申し込みください。

兵庫県社会福祉士会事務局 行き
FAX 078-265-1340 E-mail entry@hacsw.or.jp

委員会見学申込書

| | |
|--|---------------|
| 研修委員会 | 子ども家庭支援委員会 |
| 調査研究委員会 | 実習教育支援委員会 |
| 国家試験対策委員会 | 独立型社会福祉士支援委員会 |
| 広報委員会 | 障がい福祉委員会 |
| 相談委員会 | 更生支援委員会 |
| ソーシャルワーク研究委員会 | 地域移行支援委員会 |
| 高齢者・障害者虐待対応委員会 <small>※委員会参加には要件があります</small> | 生活困窮者支援委員会 |
| | 災害支援委員会 |
| 地域包括支援センター支援委員会 | |

見学を希望する委員会に○を付けてください(複数選択OK!)

| ふりがな | 会 員 番 号 | |
|---|-------------|--|
| 氏 名 | | |
| 電 話 番 号 <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先 | ※ 日中連絡のつく番号 | |
| メールアドレス <input type="checkbox"/> 自宅・携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先 | | |
| 勤務先(任意) | | |
| 備 考 | | |

後日、委員会担当者から直接ご案内いたします。

お問い合わせ先
兵庫県社会福祉士会事務局 TEL 078-265-1330

都道府県社会福祉士会 入退会・変更届

年 月 日

| | | | |
|------|--|----|--|
| 会員番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

1. 所属社会福祉士会の変更 退会→入会 (所属の変更のみ)

※規約により所属社会福祉士会は住所または勤務先所在の都道府県となります。

| | | | | |
|----|------|------------|------|--------------|
| 私は | 旧 所属 | 社会福祉士会を退会し | 新 所属 | 社会福祉士会に入会します |
| | | | | |

2. 氏名の変更

| | | | |
|------|--|------|--|
| ふりがな | | ふりがな | |
| 旧氏名 | | 新氏名 | |

3. 住所等の変更 (年 月 日変更)

| | | | |
|------|-------------------------|--|--|
| 旧住所 | 〒 | | |
| ふりがな | | | |
| 新住所 | 〒 (アパート・マンション名もご記入ください) | | |
| 電話番号 | FAX番号 | | |
| | E-mail | | |

4. 勤務先等の変更

| | | | |
|-------|--------|-----|--|
| 勤務先名称 | | | |
| 勤務先種別 | | 職 種 | |
| 所在地 | 〒 | | |
| 電話番号 | FAX番号 | | |
| | E-mail | | |

5. 年会費引落とし口座の変更

| | | | | | |
|--------------------------|--------|--------------------------|------------|--------------------------|------------|
| <input type="checkbox"/> | 変更しません | <input type="checkbox"/> | 銀行口座に変更します | <input type="checkbox"/> | 郵便口座に変更します |
|--------------------------|--------|--------------------------|------------|--------------------------|------------|

※変更される方には所定の用紙をお送りします。

事務局情報

兵庫県社会福祉士会会費引落についてのお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、兵庫県社会福祉士の事業の推進につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

下記の通り、2023年度会費等のお引き落としさせていただきますので、お知らせいたします。ご不明な点がございましたら下記担当までお問い合わせください。

敬具

記

2023年度 兵庫県社会福祉士会年会費

1. 引落日 2023年5月29日(月)
2. 引落金額 17,121円
内訳：兵庫県社会福祉士会年会費 17,000円
引落手数料121円(110円×消費税10%)

2023年度ばあとなあ兵庫名簿登録料 ※名簿登録者のみ

1. 引落日 2023年6月27日(火)
2. 引落金額 10,121円
内訳：ばあとなあ兵庫名簿登録料 10,000円
引落手数料121円(110円×消費税10%)

※引落の前日までに、ご指定の口座へご入金いただきますようお願いいたします。

※預金通帳欄の摘要欄には、「DF.ヒョウゴフクシ」または「ミツビシUFJファクタ」等と印字されますのでご承知おきください。

※口座登録されていない方には、別途請求いたします。

お問合せ

一般社団法人兵庫県社会福祉士会 事務局 担当/中村・北野

TEL: 078-265-1330 E-mail: svadhanhyogo@hacsw.or.jp

事務局連絡先

【事務局】

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
〒651-0062
神戸市中央区坂口通2-1-1
兵庫県福祉センター3階
電話：078-265-1330
FAX：078-265-1340

【事務局員】

| | | |
|-------|----|-----|
| 事務局長 | 西野 | 佳名子 |
| 事務局次長 | 中山 | 貴之 |
| 事務局員 | 中村 | 智穂美 |
| 事務局員 | 北野 | 和香子 |
| 事務局員 | 胡中 | 智礼 |
| 事務局員 | 笹岡 | 久美 |

| | | |
|------|------|-----|
| 事務局員 | 萩原 | 美千紘 |
| 事務局員 | 小坂 | 知博 |
| 事務局員 | 加戸 | 陽子 |
| 事務局員 | 中村 | 美香 |
| 事務局員 | 畠山 | 京子 |
| 事務局員 | 一番合戦 | 桂子 |
| 事務局員 | 真利 | 敦子 |

【事務局メールアドレス】

svadhanhyogo@hacsw.or.jp

【ばあとなあ兵庫事務局】

電話：078-222-8107
partner-jimu@hacsw.or.jp

【研修申込専用メールアドレス】

entry@hacsw.or.jp



一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
このとり通信 No.114

2023 Spring

発行：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 広報委員会
住所：〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3階
電話：078(265)1330
Fax：078(265)1340
印刷：小野高速印刷株式会社